

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤とする，知・徳・体の調和のとれた，心身ともに健康で人間力豊かな児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・よく考える子ども：規範意識をもち，自ら考え，進んで学べる子ども
- ・思いやりのある子ども：自他のよさに気付き，共に伸びようとする子ども
- ・体力のある子ども：心身ともに健康で気力や体力に満ちた子ども
- ・はたらく子ども：目標の実現に向けて粘り強く取り組める子ども

2 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり，保護者・地域住民と一体となって連携・協働し，活気と創意に満ちた教育活動の展開を通して，目指す学校像に迫る。

《目指す学校像》

- 子どもたちが安心して生き生きと自己発揮できる「どの子どもも輝く楽しい学校」
- 児童や保護者にとって「安心・安全な学校」
- 教職員が互いに学び合い磨き合う「働きがいのある学校」
- 地域住民と連携・協働する「地域とともにある学校」

3 学校経営の方針

(1) 児童が安心して生き生きと自己発揮できる「どの子どもも輝く楽しい学校」

- ・児童一人一人を大切に，認めてほめて励ます指導により，自己肯定感・自己有用感を高める。
- ・「わかった，できた」授業を展開し，学ぶ楽しさを感じさせることで，基礎基本の定着と，主体的に学ぶ態度の育成を図る。
- ・互いの違いやよさを認め合うきめ細かな支援を行い，すべての児童にとって楽しく居がいの感もてる温かい雰囲気の学級経営を推進する。

(2) 児童や保護者にとって「安心・安全な学校」

- ・児童が心身共に安心・安全で潤いのある環境の中で生活できるよう，温かい人間関係の醸成や学びを高める環境の整備・活用，校舎等の点検・整備に努める。
- ・児童のよさや学校・学級情報を積極的に発信したり，きめ細かで誠意のある対応を心がけたりして，保護者との連携を密にし，共通理解を図る。
- ・地域と連携を図ったり，交通安全教室，避難訓練などを実施したりして，児童自らが生命を守り危険を予測し回避する行動力を身に付ける指導を強化する。

(3) 教職員が互いに学び合い磨き合う「働きがいのある学校」

- ・協調性と協働性をもち，それぞれのよさを発揮しながら，互いに磨き合える組織づくりをする。
- ・創意ある提案や意見交換を大切にしながら，教職員の資質・能力の向上を目指すとともに，学校経営への参画意識を高める。

- ・教職員がいきいきとやりがいを感じながら勤務し、心身ともに健康で児童と向き合えるよう、働き方改革の視点から「勤務時間を意識した働き方」「校内業務の効率化」「ICTの効果的な活用」などの推進を図る。

(4) 地域住民と連携・協働する「地域とともにある学校」

- ・地域学校園や児童会の取り組み、及び家庭・地域との連携を生かした「あいさつ運動」を通して、規範意識を高める取り組みを推進する。
- ・学校支援ボランティアや登下校ボランティアなど、学校を支えてくれる方々への感謝の心を育むよう努める。
- ・学校だよりやHP等による情報発信を積極的に推進する。

[若松原地域学校園教育ビジョン]

「つなげよう学び 鍛えよう心と体 共にのびよう WGS 学校園」

4 教育課程編成の方針

- (1) 関係法令、「県教育振興基本計画 2025」、「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「令和7年度指導の重点」などを踏まえ、学校経営方針に基づき、知・徳・体の調和のとれた教育活動を展開し、教育目標の達成を期する。
- (2) 「社会に開かれた教育課程」の視点に立ち、社会の変化に向き合い適切に対応していくため、学校教育を通して育むべき資質・能力を明確にし、教科等の関連や地域の教育資源や人材活用を図り、適切かつ、一貫性のある教育課程の編成に努める。
- (3) うつのみやマネジメントシステムによる評価等を踏まえ、実態に即した創意ある教育課程の編成につなげる。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

(1) 学校運営

児童も教職員も互いを認め合い、成長し合い、自信をもっていきいきと輝く楽しい学校づくりを推進する。

○「認めてほめて伸ばす教育」の実践

○あいさつの響く学校づくりの推進

- ・わかる授業と居心地のよい温かな学級集団づくりの推進

(2) 学習指導

「自ら学び、互いに高め合う児童の育成」

～児童の「わかる!」「考える!」「伝える!」を高める授業の工夫～

- ・わかる楽しい授業の展開 望ましい学習態度、習慣の定着
- ・「学力の基礎・基本」の確実な定着
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・読解力・表現力の育成 ・読書活動の推進 ・家庭学習の習慣化

(3) 児童生徒指導

「自ら考え正しく判断し、豊かな人間関係を築くことができる児童の育成」

～思いやりの心をもって、互いに認め合う学校生活を通して～

- ・礼儀を意識した挨拶の定着、規範意識の醸成
- ・居心地のよい温かな学級集団づくりの推進

- ・縦割り班活動や異学年流を充実させた望ましい集団づくり
- ・児童に寄り添い豊かな心を養う個に応じた指導の充実
- ・家庭・地域・関係機関等との連携

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

「自らの健康に関心をもち、望ましい生活習慣を身に付けようとする児童の育成

～ 生活習慣の改善を目指した取組を中心として ～

- ・健康の保持増進 ・運動の日常化 ・食に関する指導の充実
- ・判断力・行動力を育む安全教育 ・家庭・地域との連携協力

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ① 自他のよさに気づき、思いやりの心をもって接することができる実践力
- ② 地域や集団の一員として役割を担い、主体的に行動できる意欲や態度

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

◇思いやりや感謝の気持ちを育てる，縦割り班活動・異学年による交流活動の推進

（農園活動・縦割り清掃・わくわくタイム）

- ・特別活動を通した児童主体の活動の充実
- ・地域学校園等との交流を通した児童主体のあいさつ運動の推進
- ・朝の読書活動，教職員やボランティアによる読み聞かせ，図書館利用の推進など本に親しむ機会の充実
- ・書く活動の積極的導入，伝え合う場の工夫による学びを楽しむ子どもの育成

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

学校・保護者・地域が目標や方針を共有し協力・協働して子どもを育てる意識を高めるため，新田小学校地域協議会の学校運営への参画を促進し，地域の人的・物的資源を有効に活用した教育活動の充実に努める。

②主な取組

- ・地域協議会を通しての，児童の実態・課題，指導の対策や方策の共有
- ・学校支援ボランティアの積極的活用（読み聞かせ，家庭科，生活科）
- ・地域の教育資源を有効に活用した体験活動の実施
- ・「まちづくり協議会イベントへの参加・協力」等，地域の行事への参画
- ・学校だより，ホームページ，授業参観等を活用した地域への積極的な発信

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

若松原地域学校園教育ビジョン「つなげよう学び 鍛えよう心と体 共にのびよう WGS学校園」の具現化を図るため，その思いと責任を共有し，連携して児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある指導を継続的に実践する。

②主な取組

- ・児童生徒が意欲的に取り組む授業づくりを通じた学力向上のための活動の推進
- ・集団や地域・社会の一員としての自覚をもち、互いのよさを認め、思いに応え合いながら共に成長していく児童生徒の育成
- ・健康・体力・食育に関する、地域学校園の児童生徒の実態把握、と体力向上のための活動
- ・児童生徒、教職員の交流に関する企画についての調整、及び地域学校園内の学校事務や食育、学校図書館に係る教職員の交流の促進
- ・GIGAスクール構想やICT支援員の効果的な活用についての情報交換

(3) 不登校対策

①基本的考え

自己肯定感を高める指導と学級の支持的風土づくりの推進を基本に、早期発見・早期対応、緊密な家庭との連携体制の確立、チームでの対応により、児童と保護者に寄り添った指導を徹底する。

②主な取組

- ・楽しい学校、分かる授業、居心地のよい温かな学級づくりの推進
- ・職員打合せ後の児童指導情報共有の実施
- ・教育相談やQ-U検査の結果の活用などに基づく、未然防止と早期発見
- ・不登校対策委員会による、適切な個別の支援計画の策定と組織的な対応
- ・1人1台端末を有効に活用するなど、一人一人の状況に応じた支援の実施・
- ・各関係機関と連携を図った個に応じた適切な対応

(4) GIGAスクール構想

①基本的な考え

すべての児童に対して個別最適な学びと、宇都宮モデルによる主体的・対話的で深い学びを実現するために、全教職員共通理解の下、1人1台端末環境を生かした児童の資質・能力の育成や校務の効率化を推進する。

②主な取組

- ・協働学習支援ツール等を活用した授業の実施及び継続的な研修の充実
- ・端末の効果的な活用を検証する相互授業の推進
- ・情報モラル/デジタル・シティズンシップ教育に関する指導の充実

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

児童が郷土（宇都宮）の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるよう宇都宮学を推進する。学年を超えての取組とともに、教科横断的な考えをふまえたカリキュラムマネジメントを実施する。

②主な取組

- ・3・4年社会科学習、5・6年総合的な学習の時間の年間指導計画の見直し
- ・宇都宮市の伝統文化等を体験できる学習の時間の確保
- ・「宇都宮のよさ」を伝え合う児童主体の活動の実施、家庭等への情報発信
- ・若松原地域学校園内における学習内容の共有化に向けた研修実施